引 用 文 献

Rehder, A. 1949. Magnoliaceae. In Rehder, Bibliography of cultivated trees and shrubs. 179-183. Spongberg, S. A. 1976. Magnoliaceae hardy in temperate North America. Journ. Arnold Arb. **57**: 250-312. Yasui, K. 1937. Karyological studies in *Magnolia*, with special reference to the cytokinesis in pollen mother-cell. Bot. Mag. Tokyo **51**: 539-546, t. 13 & 626.

(東京大学総合研究資料館植物部門)

○ショウキズイセンと *Lycoris aurea* の関係 (栗田子郎) Siro KURITA: *Lycoris aurea* versus *L. traubii.*

わがくにでは古くからショウキズイセンの学名として *Lycoris aurea* を用いてきた。

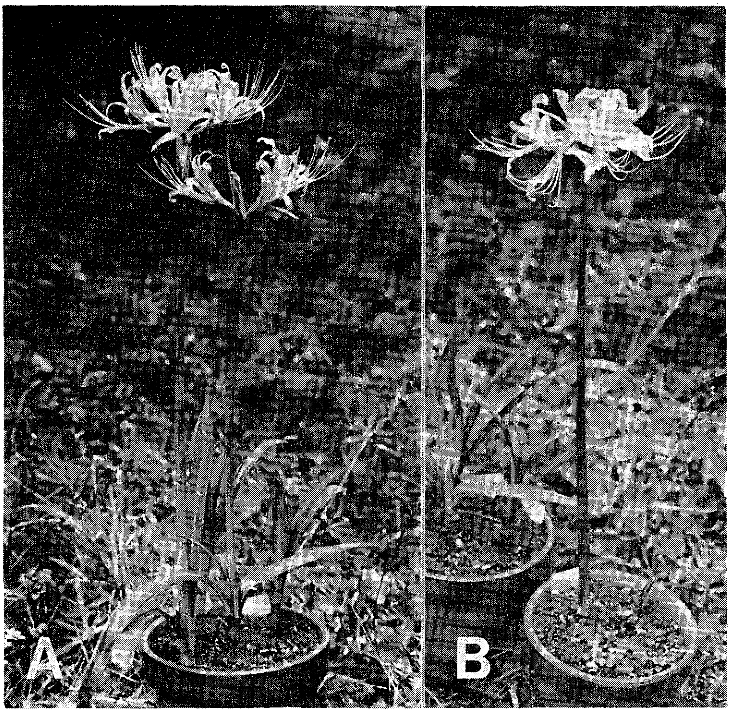


図 1. *Lycoris aurea* と *L. traubii.* A: *L. aurea.* 花茎とともに葉もつけている。花はやや上向に咲き総苞片が大きい。B: *L. traubii.* 花は横向からやや下向に咲き，花糸が花被より下方へたれる傾向がある。総苞片も小さく葉はほとんど伸展していない。ともに10月25日撮影。

L. aurea なる種は Fothergill により1777年に中国から英国へ移入されたものといわれ，L'Heritier (Sertum Anglicum 14, t. 156. 1788) が *Amaryllis aurea* として報告したものを後に Herbert (Bot. Mag. London 47: pl. 2113, 5-6. 1819) が *L. aurea* (L'Herit.) Herb. としたものである。この植物は新大陸にももちこまれ，フロリダではさかんに繁殖しているらしい。ところが第二次大戦後，日本からかなりの量のショウキズイセンが彼の地に輸出されるにおよんで *L. aurea* とのちがいが明らかになり，Hayward (Plant Life 13: 40-41. 1957) はショウキズイセンを新種とみなし，*L. traubii* なる学名をあたえた。また大井（植物と自然 7: 2-3. 1973）も L'Heritier による *L. aurea* の図をかかげながら，Hayward の説をとるべきであろうと論じている。ただ，L'Heritier の図には剣状の5枚の葉に抱かれた花茎の先に輪生する花が描かれており，"葉見ず花見ず" の里呼名もあるヒガンバナ類らしくない。そのため大井先生も「この植物は欧州ではとても珍しかったものにちがいない。今から考えると葉と花とが同時にみられるなどとてもおかしく感じられるのだが，これは L'Heritier にも Redouté にも，それ以外に考えられないことだったらしく，葉と花が同時にみられるのは面白い。」と書いておられる。

さて筆者は昨年秋，核型分析をする目的で1976年にオオキツネノカミソリなどとともに東京大学附属小石川植物園からわけていただいた3球の香港産の *L. aurea* についた花（写真A）を詳細に観察する機会に恵まれ，大井先生が指摘されたように Hayward の説が正しく，ショウキズイセシ（写真B）は *L. traubii* とすべきことを理解し得た。しかし写真Aにみられるように，この *L. aurea* は花とともに伸展した葉をつけており，L'Heritier の図そのままであった。Caldwell (Amer. Hort. Mag. 41: 61-93. 1962) も北米で栽培されている *L. aurea* は花茎とともに葉も伸展するとのべており，これは *L. aurea* の一つの特徴なのだろう。

ところで，黄色花をつける *Lycoris* の分類にはまだ混乱があるようだ。Baker (Handbook of the Amaryllideae. 1888) や Traub & Moldenke (Amaryllidaceae, Tribe Amaryllideae. 1949) の *L. aurea* は，葉は5月に展開し，花は8月に咲くとある。Baker たちのいう *L. aurea* は，1948年に南京から米国に入った，4月に葉を展開し7月下旬から8月上旬にかけて開花する *L. chinensis* Traub かも知れないし，1925年に福州からテネッシー州ナッシュビルへ Mrs. Sperry によって移植された，3月上旬に葉を出し8月に開花する *L.* "Sperry" かも知れない。この種は杭州から福州にかけての丘陵地に自生するという。また，Traub & Moldenke は *L. aurea* var. *surgens* というビルマ北部産の変種もあげているが，記載からみるかぎりではこの方が Herbert の *L. aurea* に近いように思われる。

（千葉大学理学部生物学教室）